



第25回 ICOM（国際博物館会議）京都大会 2019 文化をつなぐミュージアム 一伝統を未来へー 出展報告・展示紹介

ICOM(国際博物館会議)の大会が日本で初めて開催されました。

ハンセン病資料館では、2019年9月1日～7日に京都で開かれた大会において当館の紹介のためにバナー展示・パンフレットの配布を行いました。

当館の海外に向けての情報発信について知っていただくため、この大会で出展したバナー展示を紹介します。

❖ ICOM(アイコム)とは ❖

ICOM(International Council of Museums:国際博物館会議)は、ミュージアムの進歩発展を目的とした世界で唯一かつ最大の国際的非政府組織です。1946年に創設され、2019年には世界138の国と地域から44,500人のミュージアム関係者が、加入しています。

そして、ICOM全ての委員会が一堂に会する大会が3年に一度、世界のどこかで開催されます。2019年にはこの大会が京都で開催されることになりました。大会期間は約1週間。基調講演、パネルディスカッションなど全体会議の他に、国際委員会ごとのセッションや、メイン会場から離れたオフサイトミーティング、見学ツアーなどが実施されます。開催地では、博物館や文化施設、地元行政の協力のもと様々な市民向けイベントも開催されます。(ICOM KYOTO 2019 HPより)

2019(令和元)年
9月10日(火) >> 9月29日(日)
国立ハンセン病資料館 ギャラリー

入場
無料

国立ハンセン病資料館

The National Hansen's Disease Museum

〒189-0002 東京都東村山市青葉町4-1-13 開館時間 9:30～16:30(入館は16:00まで)

TEL:042-396-2909 FAX:042-396-2981 URL:<http://www.hansen-dis.jp/>